

※外部への提供や二次利用はお控えください



第四回 再生古地図 情報交流シンポジウム -城下町を持つ自治体の視点から-



令和7年2月6日

熊本市 都市建設局 都市政策部 都市デザイン課
小南 直子

【市の概要】

- 人口：735,675人（令和6年4月1日現在）
- 面積：390.32 km²
- 人口密度：約1,900人
- 平成24年に全国で20番目の政令指定都市

【特徴】

- くまもとのシンボル「熊本城」
- おいしい水のある暮らし「**日本一の地下水都市**」
- 清らかな水が育む「**農産物と食**」
- 街中にある自然・癒しの場所
「**水前寺成趣園**」「**江津湖**」「**植木温泉**」
- 熊本の街を走る人気者「**市電**」
- アクセス良好な「**九州の拠点都市**」
- 熊本市の魅力ある「**元気なヒト**」



○ 本市は、古くから城下町や九州各地の交通の結節点として栄えたことで・・・

地域固有の信仰や生業、文化、祭礼、建造物など、広く市内に多様な歴史文化が分布



○ 本市の豊かな自然や歴史文化等の特性を生かした景観を形成するため・・・

**これまで良好な景観形成に向けた取組を市民と協働で実施し、
特に、歴史的町並みが残るエリアでは、歴史的建造物の保存・修景を推進**

S 63 熊本市都市景観基本計画策定

H 1 熊本市都市景観条例制定

H 3 大規模建築物等届出制度開始

H 7 景観形成建造物指定開始、(H10～) 助成金制度運用開始

H 21 熊本市景観条例の改正及び熊本市景観計画策定
景観重要建造物指定開始、(H24～) 助成金制度運用開始

H 24 新町・古町地区の城下町の風情を感じられる町並みづくり助成金制度運用開始

H 27 川尻地区の歴史を活かした町並みづくり助成金制度運用開始

H 28 熊本地震

H 29 熊本市町並み復旧保存支援事業の実施に関する補助金交付要綱制定

R 2 熊本市歴史的風致維持向上計画（くまもと歴史まちづくり計画）策定

R 3 熊本市光のマスタープラン、公共サインガイドラインの策定

R 5 熊本市景観計画改定（R6.4.1施行）

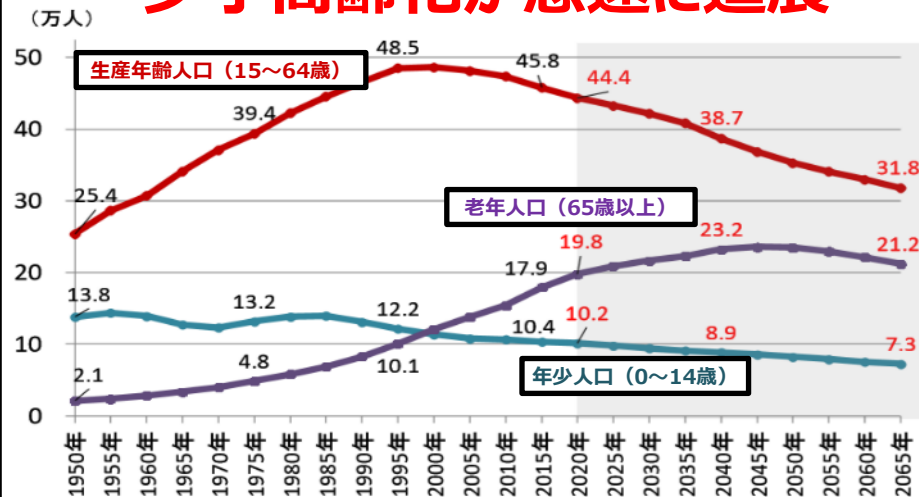


○ 一方で、近年、本市の歴史文化を取り巻く環境が大きく変化・・・

少子高齢化等による担い手減少

【本市の人口推移】

少子高齢化が急速に進展



歴史ある行事・産業の継承が困難

多くの歴史的建造物が熊本地震で被災・解体

【新町・古町地区・川尻地区の町屋数推移】



歴史的な町並みの喪失

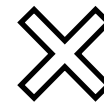
歴史ある地域資源や町並みの喪失の恐れ

- このような状況の中、本市の歴史文化の危機を乗り越え、本市の豊かな歴史文化遺産の魅力や価値を後世に継承していくための取り組みが必要。

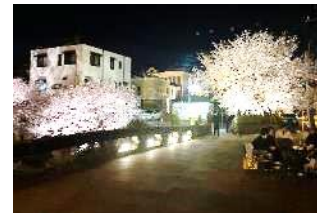
歴史まちづくりの
“**更なる支援拡充**”



歴史的文化遺産を
“**まちづくりに活かす**”



“**官民連携**”による
まちづくり体制の強化



R2年6月24日

**熊本市歴史的風致維持向上計画
(くまもと歴史まちづくり計画) を策定**

くまもと歴史まちづくり計画の目的

本市の豊かな**歴史的文化遺産の魅力や価値を後世に継承するために・・・**

① 市民一人ひとりが豊かな**歴史的文化遺産の魅力や価値を再認識**し、それらを守り、まちづくりに活かしながら、**自分たちが暮らすまちに一層誇りと愛着を持つこと**

② **官民が連携した歴史まちづくり活動の推進**や、熊本城の復旧とあわせた歴史的な町並みの再生により、**都市の個性と魅力に磨きをかけ、地域の活性化や観光の振興**につなげていくこと

くまもと歴史まちづくり計画の方針

計画策定時の5つの課題に基づき、**今後の方針と事業内容を設定**

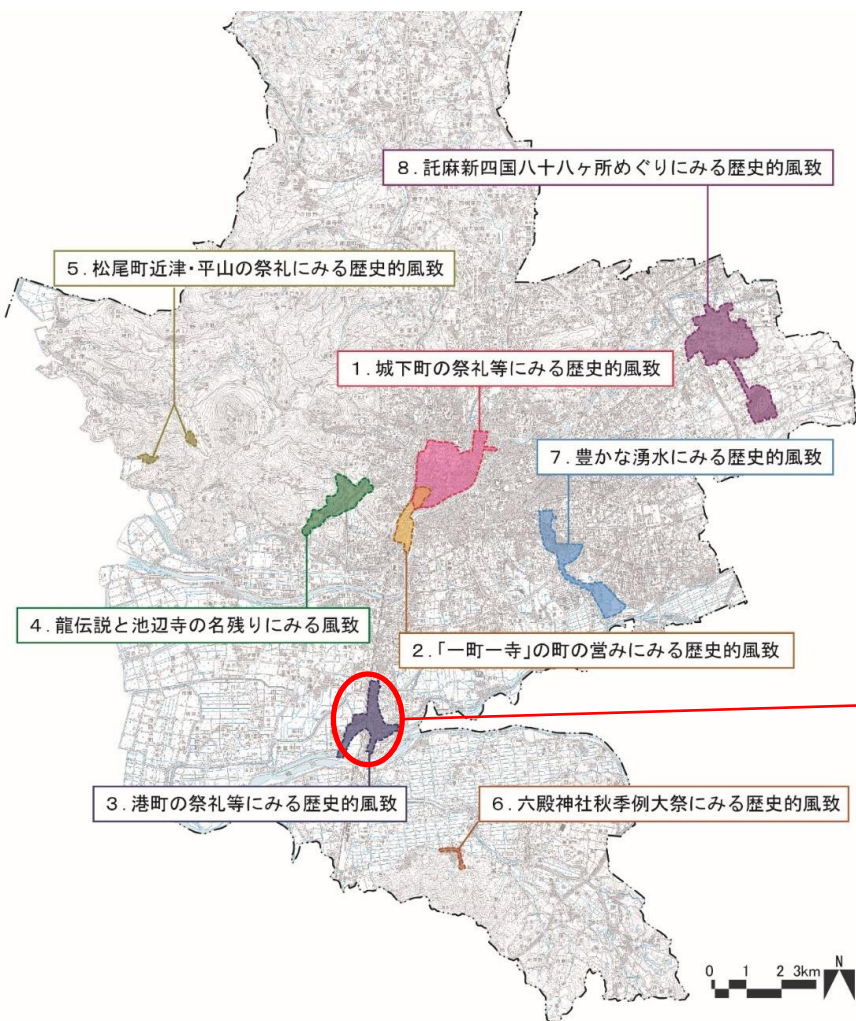
※A・Bは主に重点区域の事業

分類		課題	方針	方針に基づく事業	
A	歴史的建造物の保存・活用関連	・歴史的建造物の不十分な維持管理 ・歴史的建造物の震災後の未改修、放置及び滅失	・各種法令に基づき保存・活用 ・歴史的建造物の活用促進 ・歴史的建造物の防災対策による被災リスクの軽減	1：歴史的風致形成建造物助成事業	 歴史的建造物の保存支援イメージ
				2：熊本城復旧事業	
				3：景観重要・形成建造物助成事業	
				4：町並み復旧保存支援事業	
				5：町屋等活用促進事業	
B	歴史的建造物の周辺環境の保全と向上関連	・歴史的建造物周辺の良好な町並み・景観の喪失	・歴史的建造物の周辺の建造物の外観誘導 ・周辺環境整備による町並み・景観の向上	1：町並みづくり助成事業	 周辺環境の景観向上イメージ
				2：道路空間整備事業	
				3：空地等活用事業	
C	伝統文化を反映した活動の継承関連	・祭礼や伝統工芸品等の担い手不足	・各種団体等への支援 ・担い手確保のための支援 ・伝統文化の記録・保存	1：文化団体への助成事業	 担い手支援イメージ
				2：伝統技術普及継承事業	
				3：地域エッセンス支援事業	
				4：くまもと工芸会館管理運営事業	
D	歴史的風致を活かした観光振興関連	・回遊性のための取組みの不足 ・インバウンド対策が不十分	・イベントや催事の開催 ・回遊性向上のための取組み ・観光案内ガイドの育成	1：坪井川舟運検討	 イベント関連イメージ
				2：歴史・文化を活かした観光体験事業	
				3：観光周遊促進事業	
				4：熊本城及びその周辺をつぶす周遊バス運行	
				5：川尻米蔵利活用事業	
E	歴史的風致の情報発信と認識向上関連	・歴史的風致に関する情報発信の不足	・各種講座等の開催 ・新たな情報発信コンテンツ作成	1：「復興城主」募集事業	 講座開催、コンテンツイメージ6
				2：歴史文化体験学習事業	
				3：歴史まちづくり教育事業	
				4：情報発信推進事業	
				5：歴史まちづくり調査研究事業	
				6：「文化財保存活用地域計画」の策定検討	

○ 優先的かつ重点的に取組を進める「2つの重点区域」を設定

市内8つの歴史的風致の中から、「城下町地区」及び「川尻地区」を重点区域に設定

- ・価値の高い歴史的建造物や重要文化財等の指定文化財が集積
- ・熊本市景観計画に基づく重点地域 又は 歴史的な町並み地区である区域





- 熊本市南部の川尻地区は、河川（緑川・加勢川）沿いに位置し、古くからの湾港都市であり、物流の拠点として栄えた。
 - 豊かな水の恵みを活かした酒造や刃物づくりなど、独自の産業や文化が息づく地区でもある。
-

<https://youtu.be/r-N0qlbnKqM?si=CDf1Jvn7RMCz6QpV>

※くまもと歴まち360° 川尻編 通常まとめ動画1分

○ 各種媒体を活用した情報発信や、点在するスポットの回遊を促すためのイベント等を実施

川尻散策古地図制作・デジタルスタンプラリーの開催



Pokémon GO

国土交通省では『Pokémon GO』を運営する Nianticや全国の歴まち認定都市と連携。
本市では42箇所を新たにポケストップとして設置。



©2023 Niantic, Inc. © 2023 Pokémon. © 1995-2023 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

当課Instagramの開設

歴まちをはじめとした都市デザインに関する情報を発信中。
※課職員にて運営



KUMAMOTOCITY_URBANDESIGN

○ 市民や来訪者が、誇りや愛着の持てる地域ブランド構築に向け、プロモーション動画を公開

プロモーション動画サイト「くまもと歴まち360°」

- 360°VR動画の撮影手法を導入
- 建造物の外観・内観等を自由に視点を変えながら閲覧可能。
- 映像とともに、建造物に対する所有者の想いや歴史的背景を発信。



https://youtu.be/QG2gQkUZq_c?si=wri-hIKN-OjvT-0n

※くまもと歴まち360° VR動画 PSオランジュリ

○ 地域、行政、民間が協働し、現在使われていない町屋等の利活用実証実験を通じた魅力発信

城下町地区 利活用実証実験



川尻地区 利活用実証実験



- 夜間景観を“実際に見て感じてもらう”機会の創出により、新たなまちづくり活動の促進へ

ライトスケープ・キャラバン（夜間景観実証実験）

- 本市が保有する照明機材等を活用し、市内各所における地域資源等を対象とし、市民協働で新たな夜間演出等を行う「ライトスケープ・キャラバン（夜間景観実証実験）」を、R3年度から年間を通じて展開中。

施策イメージ

マスタープランに即した
公共事業推進 等

推進

普及・
啓発

一体的な夜間景観づくり

促進

大規模行為等の際の
一定のルール作り 等

ライトスケープ・キャラバン（夜間景観実証実験）

年間を通じて、各地に照明機材を持ち出して、魅力ある照明演出を支援



広報用WEBサイト

地域・民間事業者

対話

行政

対話

地域・民間事業者

（地域スポット）

市手配の照明機材

（既存イベント）



搬入or貸出



搬入or貸出



新たな景観資源の創出

市民の注目・関心度の向上

付加価値の向上

まちづくり活動の促進

水前寺成趣園参道

川尻浄行寺

明八橋

川尻船着場跡

ジェーンズ邸

川尻みちあかり



○ 持続可能な歴史まちづくりに向けた、今後の取組みについて……

地元有志、金融機関、行政等がこれまで以上に連携を深め、
ヒト、モノ、コト、カネを効果的、計画的にまちづくりに
投資する仕組みづくりが重要

所有者等
に対する継続的な
御用聞きによる
信頼関係の構築



事業者等が
継続的にまちづくりに
参画したくなる
仕組みづくり



地区の価値・魅力の
継続的・効果的な
情報発信による
新たな需要喚起



成功事例の積重ねと環境の変化に合わせた取組みの繰り返し